



車両火災

＝不適切な改造による火災に注意しましょう！！＝

八女消防本部管内において、停車中（エンジン OFF）の車が燃える火災が発生しました。

専門業者と合同で原因調査を実施した結果、車両の不具合によるものでなく、後付けの HID ヘッドライトの配線の取り付け不備が原因ではないかと考えられる事案が発生しましたのでお知らせいたします。

★ なぜエンジンが止まった車が出火するのか？ ★

エンジンが止まった後も、バッテリーから車両の電気機器に微量の電流が流れています。例えば、電動スライドドアやクラクションなどはエンジンを切った後でも使えます。電気が流れている配線の折れ曲がりや接続不良などで負荷がかかり、その箇所から発熱又はショートを起こし出火する場合があります。それを防止するためにヒューズという電子機器が必ず付いていますが、今回は、ヒューズを使用しないで後付けの HID ヘッドライトを直接バッテリープラス端子に接続していたのも原因の一つと考えられます。

※注意：ヒューズは適切な容量のヒューズを使用しましょう！！

最近ではライト以外にもドライブレコーダーもご自身で取り付ける方もいますが、誤った取り付けを行うと、今回のように火災になりかねません。

また、今回の火災は、中古で購入した車であり、ご自身での取り付け（改造）ではありませんでした。中古で購入した場合、どのように改造されているかわからないため、火災を防ぐためにも一度確認することも重要です。

出火防止対策

- ・ご自身で取り付ける場合は、取扱い説明書をよく確認して取り付けましょう。
- ・取り付けが難しいようであれば、必要に応じて専門業者にお願いしましょう。
- ・中古で車を購入した場合は、改造等がないか確認しましょう。

